

第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略 第2回審議会 議事録

【開催日時・場所】

令和2年10月7日（水） 13:30～17:00

仁多庁舎4階 大会議室



審議会の様子

【議事次第】

1. 会長あいさつ
2. 奥出雲町の情報通信環境
3. 現状把握・各種調査結果
4. 施策体系（将来像・理念・基本目標）
5. 分科会（理念Ⅰ・理念Ⅱ・理念Ⅲ）
6. 全体会
7. その他



分科会の様子

【当日配布資料】

1. 奥出雲町の情報通信環境について

- ・ローカル5G等を活用した地域課題の解決に向けて
- ・奥出雲町ケーブルテレビ事業について

2. 施策体系（将来像・理念・基本目標）について

- ・第2次奥出雲町総合計画・総合戦略の施策体系（たたき台） …… **資料5**
- ・まちの将来像（奥出雲町が目指すべき姿）／まちづくりの姿勢 …… **資料5-1**
- ・原稿イメージ
- ・分科会ご意見メモ

3. その他

- ・第2回審議会 次第
- ・分科会委員名簿

【事前配布資料】

- ・奥出雲町の将来人口推計（概要） …… **資料1**
- ・町民意識調査結果（概要版） …… **資料2-1**
- ・中高生アンケート調査結果（概要版） …… **資料2-2**
- ・島根リハビリテーション学院アンケート結果（概要版） …… **資料2-2**
- ・関係団体アンケート調査結果（概要版） …… **資料3**
- ・奥出雲町の現状分析（概要版） …… **資料4**
- ・基礎調査結果（本編）
- ・町民意識調査結果（本編）

【出席者名簿】

順不同 ◎会長、○副会長

区分・所属		氏名	団体役職等	出欠席
委 員		有田 昭一郎	中山間地域研究センター 企画情報部 研究企画監	出席
		岩佐 俊秀	奥出雲町自治会長会連合会 会長	出席
		植田 良二 ○	奥出雲町商工会 会長	出席
		島 啓司 ◎	社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 会長	出席
		藤原 卓	雲南医師会仁多ブロック	欠席
		堀江 康輔	仁多郡森林組合 代表理事専務	出席
		金倉 弘美	奥出雲町農業委員会 会長	出席
		村尾 明利	奥出雲町土地改良区 理事長	出席
		福田 浩文	仁多郡農業士会 会長	出席
		若月 ゆかり	奥出雲町連合婦人会 会長	出席
		村尾 紀代之	奥出雲町消防団 団長	出席
		山本 勝昭	奥出雲町民生児童委員協議会 会長	出席
		藤原 直人	社会福祉法人 仁多福祉会 理事長	出席
		黒田 克司	島根県立横田高等学校 校長	出席
		藤原 稔	仁多郡小中学校長会 会長	欠席
		足立 維久子	仁多福祉会園長会 代表	出席
		石原 武志	奥出雲町議会 総務経済常任委員会 副委員長	出席
		大垣 照子	奥出雲町議会 教育福祉常任委員会 委員	出席
		和泉 恵	奥出雲町観光協会 理事	出席
	安部 雅人	山陰合同銀行三成支店 支店長	欠席	
事務局	奥出雲町	藤原 努	副町長	出席
	奥出雲町	江角 啓	企画財政課長	出席
	奥出雲町	石原 耕司	企画財政課長補佐	出席
支援 事業者	(株)コスモブレイン	實重 彩香	技術部計画課 計画第2課長	出席
	(株)コスモブレイン	大内 智宏	技術部 部長	出席
	(株)コスモブレイン	上代 美帆	技術部計画課 技術員	出席
	(株)コスモブレイン	岡 利文	顧問	出席

【議事録】

1. 会長あいさつ

2. 奥出雲町の情報通信環境

(総務省・総務課説明記録省略)	
福田委員	前回の審議会で奥出雲町の通信網が遅れているという意見があったが、聞いてみると努力をされており、経緯についても良く分かった。5Gと光ケーブルを合わせると良い環境ができるということを知ったので活かしてほしい。
藤原委員	わかりやすい説明であった。5Gの導入を手放しに喜べないとわかった。これらを活用したインフラの整備は人口減少を食い止める大きな要因となるが、整備計画は都市部からだと受け取った。何年かかるかわからないが、田舎の方の整備が遅れると、インフラの地域格差が大きくなるのではないかと。中山間地が都市部から遅れてしまうのではないかと。政府として田舎と都市部で一斉に整備を進めることを検討してほしい。田舎から都市部への人口流出の歯止めには効果があるのではないかと。
事務局	5Gは民間と国の両者の施策で進めていくと思う。都市部であれば民間が進めていくと思うが、中山間地域では民間が入る時期が遅くなると思う。5Gに関して、例えば都市部は民間に任せて、中山間地域は国が主導で進めるという考え方が今後起きてくるか。
総務省	ご質問ありがとうございます。都会の方は民間で進めていくという認識を持ったうえで、総務省の方でも通信事業者が山間部に基地局を立てるときの補助金等のメニューを作っているところだと聞いている。これまでの見解では、民間主導で進めていくのが難しいところに関しては補助金を使いながら民間事業者が基地局を立ててもらって格差を縮めていく考えを総務省は持っている。補助金を活用しながらできるだけ格差ができないようにと考えている。
島会長	自民党はデジタル田園都市国家構想を随分前から組み立てている。菅政権の発足によりデジタル庁ができて、推進していく流れができているようだが、自民党あるいは菅政権の本気度というか、5G含めたデジタル田園都市国家なるものが実現可能かどうかお聞かせいただきたい。
総務省	菅は総務省大臣を務めたことがあるので、情報通信に関する知見や地方出身ということもあり、状況はよく理解されている。その中でデジタル庁を立ち上げるということでも目途立てもあるので、携帯電話の料金など含めると本腰を入れているように思われる。IT担当大臣にも見識がありますので、その辺りは(通信基盤の)面的インフラ整備であったり、デジタル化というところでも、実現化の加速が期待できる。実現の加速化は考えていると思う。
事務局	まだご意見ご質問あるかと思うが、ここで終了させていただく。

3. 現状把握・各種調査結果

有田委員

ご説明ありがとうございます。多岐にわたるデータの集積大変だったと思う。これだけ分析されると計画検討の資料としては最適だと思う。

質問ではないが、一点気になるところがあった。家族構成について、世帯でいうと単身世帯、夫婦世帯、3世代世帯があり、例えば子育て世帯で言うと、他調査の分析でも出ている傾向としては3世代世帯が急速に減って、核家族が増えて、高齢者世帯でも同じ傾向がある。3世代世帯は少なくなり、夫婦のみ世帯と一人で住んでいるところが増えている。これからの対策を考えるときに家族構成はものすごく重要だと思う。子育て世帯でいうと、働いて子育てをしている親御さんを支援する親族がいない状態になってきていることが見えてくる。逆に言うと、高齢者世帯では一人で住んでいる世帯が多いということは、この資料にも出ていたが、一人暮らしの独居の高齢者が増えてくる。世帯の家族構成を掛け合わせてみるのが重要だと思う。

また、出生率のことがあったが、出生率は基本的には配偶者率と一世帯当たりの子どもの数と地域社会で子育ての期にあたる女性の数の3つによって構成されている。出生率が低いということは、どこかがものすごく低いからということになる。様々なデータが揃っているのでも、他と比較してどこが弱いのかを見ていくと課題が見えてくるのではないかな。

最後に注意が必要だと思ったのは、これも子育て世代の社会増減や出生数に関わるところだが、奥出雲町は女性の就業率が他町と比較しても高いという結果が出ていた。これは良いことだが、これで子育てがしにくい条件が重なると、産み育てにくい環境になることに繋がってくる。一つ一つの統計データを解釈して、プラスに働くのかマイナスに働くのか注意しながら見ていくことが重要だと思う。

4. 施策体系（将来像・理念・基本目標）

（事務局説明記録省略）

5. 分科会（理念Ⅰ・理念Ⅱ・理念Ⅲ）

（別紙：分科会委員意見とりまとめ結果を参照）

6. 全体会

（分科会結果報告）

7. その他

（今後のスケジュール説明）